

光ゴスペル・チャーチ会員信仰誓約

私はメンバーとしてキリストのからだである教会に対し、献身的に奉仕します。

「からだ一つであっても肢体は多くあり、また、からだは一つであるように、キリストの場合も同様である。」

第1コリント12:12

「なぜなら、一つのからだにたくさんの肢体があるがみな同じ働きをしてはいないように、わたしたちも数は多いが、キリストにあって一つのからだであり、また各自はお互いに肢体だからである。」

ローマ12:4-5

光ゴスペルチャーチ(HGC)のメンバーとして、私は神の家族である教会に対し、以下のことを約束します。

- 教会の家族と共にキリストの愛により歩むこと
 - 恵みと神についての知識そして信仰深い生き方により、教会の前進のために努力すること
 - 礼拝、礼典、聖書による導きと規範、規律正しい行動を保つことにより、霊的成長を促すこと
 - 宣教により神の国を広めるために賜物をもって仕えること
- 以上を父・御子・御霊の名によって誓います。アーメン

1. 礼拝

- ・私は、物理的に可能な限り HGC の家族とともに唯一で真の神を礼拝します。

「愛と善行とを励むように互に努め、ある人たちがいつもしているように、集会をやめることはしないで互に励まし、かの日が近づいているのを見て、ますます、そうしようではないか。」

ヘブル10:24-25

「兄弟たちよ。そういうわけで、神のあわれみによってあなたがたに勧める。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、生きた、聖なる供え物としてささげなさい。それが、あなたがたのなすべき霊的な礼拝である。」

ローマ12:1

- ・私の、毎週の定期的な礼拝の目的は神を敬愛し、神に栄光を帰することです。

「万物は、神から出で、神によって成り、神に帰するのである。栄光がとこしえに神にあるように、アーメン。」

ローマ11:36

「だから、わたしたちはイエスによって、さんびのいけにえ、すなわち、彼の御名をたたえるくちびるの実を、たえず神にささげようではないか。」

ヘブル:13:15

2. 霊的な成長

・私は、HGCで行われている勉強会やグループの交わりを通して、霊的に成長していきます。私はこの勉強会やグループの交わりの目的が他の信徒たちと共同体を建てあげ、互いに役割を担いあうことであると理解します。

「信者たちはみな一緒にいて、いっさいの物を共有にし、資産や持ち物を売っては、必要に応じてみんなの者に分け与えた。そして日々心を一つにして、絶えず宮もうでをなし、家ではパンをさき、よろこびと、まごころとをもって、食事を共にし、神をさんびし、すべての人に好意を持たれていた。そして主は、救われる者を日々仲間に加えて下さったのである。」

使徒行伝2:44-47

「聖書は、すべての神の靈感を受けて書かれたものであって、人を教え、戒め、正しくし、義に導くのに有益である。それによって、神の人が、あらゆる良いわざに対して十分な準備ができて、完全にととのえられた者になるのである。」

第2テモテ3:16-17

・私は、個人的な聖書勉強の時間を通して、霊的成長をはかります。

3. 祈り

・私は、HGCのリーダーのために祈り、HGCの指導者に従います。

「あなたがたの指導者たちの言うことを聞きいれて、従いなさい。彼らは、神に言いひらきをすべき者として、あなたがたのたましいのために、目をさましている。彼らが嘆かないで、喜んでこのことをするようにしなさい。そうでないと、あなたがたの益にならない。わたしたちのために、祈ってほしい。わたしたちは明らかな良心を持っていると信じており、何事についても、正しく行動しようと願っている。」

ヘブル13:17-18

・私は個人的に、また、教会で一緒に祈ります。人々がイエス様を受け入れて、より多くの弟子が育つことを祈ります。

4. 捧げる

・私は、神がすべての与え主であることを理解し、喜びをもって豊かに神に捧げます。

「あなたの財産と、すべての産物の初なりをもって主をあがめよ。」

箴言3:9

「地と、それに満ちるもの、世界と、そのなかに住む者とは主のものである。」

詩編24:1

・神に十分の一と私の時間を捧げていくことが私を神に近づけさせ、信仰を強めることにつながります。

「わたしの宮に食物のあるように、十分の一全部をわたしの倉に携えてきなさい。これをもってわたしを試み、わたしが天の窓を開いて、あふれる恵みを、あなたがたに注ぐか否かを見なさいと、万軍の主は言われる。」

マラキ3:10

「あなたがたは自分のために、虫が食い、さびがつき、また、盗人らが押し入って盗み出すような地上に、宝をたくわえてはならない。むしろ自分のため、虫も食わず、さびもつかず、また、盗人らが押し入って盗み出すこともない天に、宝をたくわえなさい。あなたの宝のある所には、心もあるからである。目はからだのあかりである。だから、あなたの目が澄んでおれば、全身も明るいだらう。しかし、あなたの目が悪ければ、全身も暗いだらう。だから、もしあなたの内なる光が暗ければ、その暗さは、どんなであらう。だれも、ふたりの主人に兼ね仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛し、あるいは、一方に親しんで他方をうとんじるからである。あなたがたは、神と富とに兼ね仕えることはできない。」

マタイ6:19-24

5. 敬う

・私は、神をおそれ、生涯を通して神の言葉にとどまることによって、神に栄光を帰します。

・私は、従うことによって、私の家 HGC とその導きを敬います。

・私は、神が教会を多種多様な人々の集まりでありながらも一致するよう導いておられることを認めるゆえに、他のメンバーとの一致を求め、個人的意見に固執するより、他のメンバーの意向に耳を傾けます。

「また、キリストを基として、全身はすべての節々の助けにより、しっかりと組み合わされ結び合わされ、それぞれの部分は分に応じて働き、からだを成長させ、愛のうちに育てられていくのである。」

エペソ人への手紙 4:16

「最後に言う。あなたがたは皆、心をひとつにし、同情し合い、兄弟愛をもち、あわれみ深くあり、謙虚でありなさい。悪をもって悪に報いず、悪口をもって悪口に報いず、かえって、祝福をもって報いなさい。あなたがたが召されたのは、祝福を受け継ぐためなのである。」

ペテロの第一の手紙 3:8-9

・私は、教会の信望を守るため、私の人生における罪の問題に対する指導に従います。

「もしあなたの兄弟が罪を犯すなら、行って、彼とふたりだけの所で忠告しなさい。もし聞いてくれたら、あなたの兄弟を得たことになる。もし聞いてくれないなら、ほかにひとりふたりを、一緒に連れて行きなさい。それは、ふたりまたは三人の証人の口によって、すべてのことがらが確かめられるためである。もし彼らの言うことを聞かないなら、教会に申し出なさい。もし教会の言うことも聞かないなら、その人を異邦人または取税人同様に扱いなさい。よく言うておく。あなたがたが地上でつなぐことは、天でも皆つなぐれ、あなたがたが地上で解くことは、天でもみな解かれるであろう。また、よく言うておく。もしあなたがたのうちのふたりが、どんな願い事についても地上で心を合わせるなら、天にいますわたしの父はそれをかなえて下さるであろう。ふたりまたは三人が、わたしの名によって集まっている所には、わたしもその中にいるのである」。

マタイによる福音書 18:15-20

6. 奉仕

・私は、奉仕を優先することによって、自身に与えられた神様の目的と使命を果たし、自分の人生を捧げ、イエス様の仕える姿を見習います。

「人の子がきたのも、仕えられるためではなく、仕えるためであり、また多くの人のあがないとして、自分の命を与えるためである」。

マルコによる福音書 10:45

・私は、主イエス・キリストに従い、生涯神の家に仕えます。イエス様の生き方を模範とし、へりくだって福音を第一とする生活をします。

「わたしにとっては、生きることはキリストであり、死ぬことは益である。」

ピリピ人への手紙 1:21

「キリスト・イエスにあっていただいているのと同じ思いを、あなたがたの間でも互に生かしなさい。キリストは、神のかたちであられたが、神と等しくあることを固守すべき事とは思わず、かえって、おのれをむなしくして僕のかたちをとり、人間の姿になられた。その有様は人と異ならず、おのれを低くして、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順であられた。それゆえに、神は彼を高く引き上げ、すべての名にまさる名を彼に賜わった。それは、イエスの御名によって、天上のもの、地上のもの、地下のものなど、あらゆるものがひざをかがめ、また、あらゆる舌が、「イエス・キリストは主である」と告白して、栄光を父なる神に帰するためである。」

ピリピ人への手紙 2:5-11

・私はHGCのミッションの働き(国内・海外問わず)を通してキリストに仕えます。私は良い行いで相手に奉仕をするために造られました。

「わたしたちは神の作品であって、良い行いをするように、キリスト・イエスにあって造られたのである。神は、わたしたちが、良い行いをして日を過ごすようにと、あらかじめ備えて下さったのである。」

エペソ人への手紙 2:10

「あなたがたは、それぞれ賜物をいただいているのだから、神のさまざまな恵みの良き管理人として、それをお互いのために役立てるべきである。」

パテロの第一の手紙 4:10

・私は神から、地元の教会を通してすべての国、部族、人々、言語の弟子を作ることを命じられています。

「さて、十一人の弟子たちはガリラヤに行き、イエスが彼らに行くように命じられた山に登った。そして、イエスに会って拝した。しかし、疑う者もいた。イエスは彼らに近づいてきて言われた、「わたしは、天においても地においても、いっさいの権威を授けられた。それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施し、あなたがたに命じておいたいっさいのことを守るように教えよ。見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである」。

マタイによる福音書 28:16-20

「その後、わたしが見ていると、見よ、あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、数えきれないほどの大ぜいの群衆が、白い衣を身にまとい、しゅろの枝を手に持って、御座と小羊との前に立ち、」

ヨハネの黙示録 7:9

・私は、教会のミッションである地のはてまで福音をのべ伝える働きをサポートします。

「ただ、聖霊があなたがたにくだる時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう」。
使徒行伝 1:8

「それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施し、あなたがたに命じておいたいっさいのことは守るように教えよ。見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである」。

マタイによる福音書 28:19-20

7. 誓約

- ・私は家族の主に対する忠誠を保てるよう、私の子どもに対して以下のことを教育します。
- 私の子どもをクリスチャンの信仰に基づいて教育し、親族、知人の救いを求めさせること
- 注意深く御言葉に歩むこと
- すべての役割や職務に公平であること
- すべての約束に忠実であること
- 模範となること
- 噂話をしないこと
- 悪口を言わないこと、過度な怒りを持たないこと
- ドラッグ、お酒、自傷行為、自分や他の信者の信仰を妨げる行為をしないこと

- ・また、私は以下のことを誓います。 - 兄弟愛をもって、互いに支え合うこと
- 互いのために祈りあうこと
- 心身の不調の時に、互いに助け合うこと
- キリストにあるあわれみと礼節をもって語ること
- 怒るに遅くあること。しかし、和解する心の備えが常にあり、神の戒めを直ちに守るように心がけること

- ・わたしが HGC から離れる時は、可能な限りこのメンバーシップと同じ心で歩める、同じ心を持つ教会と一つになります。

「わたしを強くして下さるかたによって、何事でもすることが出来る。」
ピリピ人への手紙 4:13